

目黒稲門会会報



(題字：眞仁田 勉 初代会長)

第62号 2014年3月

発行人：大野 利幸 編集長：地田 博昌 事務局長：吉本 政治
事務局：〒152-0031 目黒区中根1-15-4 Tel 03-3725-3700

2014年新年会を開催

2014年目黒稲門会新年会は、1月19日(日)目黒雅叙園「華しずかの間」にて開催された。会員・ご家族・ご友人78名、来賓2名、現役学生3名、マンドリン楽部6名、計89名の盛会だった。

笠谷興一朗幹事の司会で第1部講演会の講師・熊谷和久氏が紹介された。

演題は「民間から見た教育現場」。民間から公募された第1号の校長として、企業人のノウハウを使って市立高校を発展向上させる奮闘の模様をお話し頂いた。(講演要旨後述)



しばし休憩の後、第2部の懇親会に移った。引き続き笠谷幹事の司会で、大野会長より主催者としての挨拶があった。

明けましておめでとうございます。只今は熊谷様より講演を頂きました。色々な方のお話をお聞きするのが新年会の恒例となっています。



昨年は新設の早稲田スポーツ観戦部会で、5試合くらい見に行きました。ラグビーの観戦では明治大学に勝ちました。スタンドに目黒稲門会の旗を立て、若い人と一緒に応援すると若返る気がします。

今年も新しい部会が増えたらいいと考えています。昨年は13の部会活動で、色々な趣味を持った人が仕事を卒業した中で活動の場に参加出来るのが目黒稲門会の一つの役割です。他の校友会からも評価されています。

もうひとつの特色は「若木会」です。中西部会長が、他の稲門会の校友も呼んで一緒に活動をしています。良いことだと思います。

昨年の総会から、この場に現役学生を招待し、今日も3人見えています。卒業した後は目黒稲門会に入ってもらいたいと思います。会費を払うだけで活動に参加していない人もいますが、どこの部会でも

良いので顔を出して頂きたいと申し上げ新年の挨拶と致します。

ここで、川井信義会員の発声で乾杯。歓談に入った。司会より、澁谷美香、柳澤秀樹の初参加会員の紹介があった。

来賓の青木英二目黒区長より挨拶があり、続いて、参加の現役学生、佐藤隆巧、水島寿美、山口優幸の各氏が紹介された。

本日ご提供のお酒の紹介があり、宴も盛り上がるなか、アトラクション、「マンドリン楽部」の演奏に入った。6人編成で「紺碧の空」「宇宙戦艦ヤマト」「見上げてごらん夜の星を」など6曲を披露、盛大な拍手を受けた。



歓談に華が咲き、おいしいお料理とお酒、妙なるマンドリンの調べに包まれ、締めは松田哲也会員のリードによる校歌斉唱。金井豊男副事務局長の中締め挨拶でお開きとなった。(田島 記)



(熊谷和久氏講演要旨)

日本楽器製造(株)の人事労務部、旭化成(株)の住宅事業部、同子会社の社長を経て、教育現場に入った。

平成14年6月、日経夕刊に横須賀市が校長を公募する記事が出た。平成12年に省令が変わって、教員免許がなくても校長になれるようになった。論文と面接で、117名の中から選ばれた。

11月、12月は市役所の中で教育。3カ月で普通校、工業校、商業校の3校を統合する準備。商業校の校長が、交換留学の試験で担任が1人の書類を出せず、受けられなかったので家に謝罪に行くと言う。おかしいなと思った。その子にとって年1回のチャンスの留学試験。翌日朝、もう1回試験を受けさせようと言った。教育委員会に持っていく考えもない。謝って済ませたいと言う隠蔽体質。信頼感が失われる。

平成15年から校長。学校から5分のところに家を借り、定時制の終わる夜10時まで居られる。

360名の入学生の顔と名前を覚えた。「○○君!」と言うとびっくりする。学校を新しく作った。ガラス張りで丸見え。授業中先生の授業を見回ると、間違っただけを書いている人がいる。あとで呼んで教えたが、評判が悪い。評価されることに慣れていない。すごくナイーブで指摘されることに弱い。

図書館を土日閉めていた。横須賀市は100億円で学校を作った。償却は1日100万円だ。2日休めば200万円。有効活用して市民も生徒も使えるようにと提案した。教育委員会は人員が必要になると反対。私と副校長と、教頭と3人で勤めた。図書館で一部の生徒にZ会の勉強をさせた。その連中から、東工大、早稲田、横浜市大に合格した。実績を作るのが大事だと感じた。

学校に音楽ホールを作った。360名収容、シェル型、残響1.5秒、反射板付き。今度はピアノが欲しい。市役所は入札なので、入札でカワイが決まったが、こちらで、横須賀文化会館の古いスタンウェイを500万円でオーバーホールして音楽ホールに入れた。音大に進学した子もいる。芸術には、それなりの物を使わないといけない。

学校の廊下はコンクリート打ちっぱなしで寂しい。大日本印刷に複製画をもらって飾った。昼夜1000名以上が見る。美術部が描いた絵を飾った。高校の美術部の大会で優勝するようになった。人はそういうもので、それなりの育ちをする。学校内での争いもなくなった。

全員にパソコンを持たせ、学校の伝達事項や、担任や私から各人へのメールもできる。授業中に寝るんじゃないとか、活躍を褒めたり、風邪で休んだら激励するとか。校長と個人がつながってくる。保護者からのクレームも全部校長に来る。「クレームは改

善の宝です。」と言うと、教員は奇妙な顔をしていた。

4年間、どこまでできたか判らないが、生徒と保護者には受け入れられた。皆とは、今でもメールやフェイスブック、ミクシィなどでやりとりがある。企業では当然のアフターサービスメンテナンスを卒業生たちにやっている。



新年会初参加者：左より柳澤、澁谷の各氏



現役学生の参加者
左より山口、佐藤、水島の各氏

新年会出席者(敬称略)

(来賓)

青木英二・目黒区長、熊谷和久・講師

(現役学生)

佐藤隆巧、水島寿美、山口優幸

(マンドリン楽部) 6名

(会員・ご家族・ご友人)

朝比奈義雄、浅海敏之、阿部喜久雄、荒瀬修一郎、安藤 孝、安藤虎雄、安藤嘉昭、石川智子、津田千恵(友人)、市瀬一江、市瀬達夫、伊藤 悠、稲垣博信、猪名川一雄、井村正陽、岩佐幸子、岩佐好恭、岩崎春雄、海口昭治、大内秀明、大久保健治、大杉邦雄、大竹一子、大野利幸、大野令夫人、小倉利允、尾崎 充、小野 満、影山信輝、笠谷興一郎、梶 恵作、加藤榮護、加藤令夫人、金井豊男、狩野俊夫、川井信義、菊地崇之、木村昭一、郡山弘文、郡山令夫人、後藤克彦、佐久間 喬、佐々木芳子、佐藤喜孝、澁谷美香、嶋田勝彦、島田久家、鈴木政雄、高野 孝、田島順一郎、田畑 繁、地田博昌、千野逸平、手塚仁雄、外岡 明、外岡令夫人、永井正孝、中島侑三、永田耕治、中西元樹、成田隆一、林田雅敏、林田令夫人、伏見和則、堀井良造、牧野武夫、松戸 猛、松田哲也、眞仁田 勉、水野弘文、村上 枢、村山 弘、森家一三、保井 正、柳澤秀樹、横山 大、吉田博行、吉本政治

各部会からの案内・報告

ウォーキング部会

そろそろウォーキングに適した季節になってきましたが、体の調子はいかがですか。皆様と一緒に元気に歩きましょう。

実施報告と今後の予定です。皆様お誘いの上ご参加ください。

実施報告

- 12月例会 12月11日(水) 参加11名
西荻窪アンティーク街から東京女子大、善福寺公園を歩く
- 1月例会 1月7日(火) 参加20名
山の手七福神を歩く



- 2月例会 2月18日(火)
下町浅草を歩く

今後の予定

- 3月例会 ニヶ領用水を歩く
日時 3月18日(火) 午後1時
集合場所 JR南武線久地駅改札外
- 4月例会 サクラソウの浮間公園から
大河の趣のある荒川沿いを歩く
日時 4月15日(火) 午後1時
集合場所 JR埼京線浮間船渡駅改札外
- 5月例会 昭和記念公園、谷保神社を歩く
日時 5月20日(火) 午後1時
集合場所 JR中央線西立川駅改札外
- 6月例会 西葛西から江戸川区自然動物園と
葛西臨海公園へ
日時 6月17日(火) 午後1時
集合場所 東京メトロ東西線
西葛西駅北口改札外

以上小雨実施です。参加希望の方は下記まで連絡をお願いします

牧野連絡先 携帯 090-9649-6868
ウォーキング部会長 牧野武夫

囲碁部会

1. 11月の例会は12名、忘年囲碁大会を兼ねた12月の例会は16名の参加者でした。

平成25年の例会延べ参加数は122名で、前年の115名に比べ、プラス7名でした。会員各位のご協力に感謝いたします。

しかし、本年(平成26年)1月は、残念ながら、寒さや年初の関係で出足が悪く7名(昨年は9名)と少数でした。今後10名以上の会員の参加をお願いしたいところです。

忘年囲碁大会は、A・B・C・Dの4組×4名の構成で熱戦を展開しました。優勝者は、A組古川さん(品川区から応援)、B組永田さん、C組伊藤さん、D組鶴野さんでした。なお、平成25年の最多対局数は荒瀬さんの56局(28勝)、最高勝率は増井さんの7割(23局16勝)でした。

2. 11月は、第2回の他区稲門会(大田、世田谷)との交流囲碁会を世田谷区の「ふじみ荘」で行いました。目黒からは、保井さん、松田さん、大久保が参加しました(世田谷12名、大田8名)。対局の後は和気藹々とした懇親会を行い散会しました。

3. 25年度年間活動状況

月	例会	校友会関係
1月	9名	
2月	10名	
3月	10名	
4月	12名	
5月	10名	
6月	10名	第13回オール早稲田囲碁祭：2組16名
7月	11名	世田谷との交流会：総数18名、目黒7名
8月	休会	
9月	11名	第13回稲穂囲碁大会：6名
10月	11名	稲門祭第1回囲碁コーナー：目黒2名
11月	12名	世田谷、大田、目黒交流会：総数23名、目黒3名
12月	忘年囲碁会 16名	第52回早慶戦：5名
延べ例会参加数：122名		

囲碁部会長 大久保健治

麻雀部会

1. 2月9日(日)目黒稲門会定例麻雀大会を武蔵小山「サン」にて開催。

2. 4月12日(土)目黒区、世田谷区、大田区の3区親善麻雀大会が渋谷「スリーハンドレッド」にて開催されます。皆様奮ってご参加下さい。

麻雀部会長 鶴野洋治

若木会

新年を迎え、気持ちも新たに若木会の活動を開始しました。今回は昨年11月実施の活動と、今年1月実施の活動についてご報告いたします。

まず、昨年の11月2日(土)～3日(日)にかけて、「朝まで若木会」という新企画を実施しました。

このイベントは、常日頃の集まりで必ずと言っていいほど小難しい話を熱く語ってしまう気質がある早稲田卒業生の性向を重視し、時間制限がない状況で気の赴くまま語ったらどうなるのか?を確認する試金石的なものとなります。内容は保養施設に1泊旅行で出発し、酒を片手にただ話すというものとなります。

第1回目は熱海の施設を使用して実施しました。まず、結果から申し上げると大成功でした。盛り上がりすぎて深夜3時過ぎまで話し続けることとなり、その後の帰り道でも議論が絶えることはありませんでした。

当日は たまたまスケジュールがかぶってしまった早慶戦観戦のお誘いを断り、万全の態勢にて熱海へ出発(本当にたまたまでした、先輩すいませんでした)。特にドラマもなく熱海へ到着後温泉につかりおいしい夕食に舌鼓を打ちました。

当日は男4人女2人の計6人が参加。男部屋にてイベント開催を決定し、お酒を複数用意していざ語りを実施したところ、多種多様な話題に飛びまくり、整合性も何もかもないかにも学生時代の酒の席でやったような会話が展開されました。政治・財政・国家間の関係・イデオロギーはもとより、恋愛観・結婚観(当日参加者はほとんど独身者)、そしてなぜかマッサージのやり方の話になり実践まで行われる始末となりました。

そんなこんなで3時過ぎにお酒もなくなり、そろそろ寝ますかとなっていったん解散。しかし直前の語り熱が取れないのか朝起きて朝食をとっている最中も議論が絶えることはありませんでした。

その後、お昼を中華街の食べ放題へ行行って腹いっぱい中華料理を堪能して帰路につきました。

最初から最後まで学生の時なら選んだであろう選択肢を選び続け、学生時代の気持ちがよみがえる会となりました。なお、こちらの会のおかげで目黒稲門会へ入会してくれる人が一人見つかりました。

次に、今年1月の目黒稲門会新年会で、司会・受付等裏方として参画し、会の運営のお手伝いを行いました。また、その際に現役学生を3人招待し、そのうちの2人から目黒稲門会へ入会していただける旨連絡を頂戴しています。

昨年から今年にかけて、数人の新規入会候補者を獲得でき、また初めて参加した人と先輩との橋渡しの役目を担う若木会としては、その役目を全うしていると思います。今後も、引き続き新企画や既存の企画を順次実施し、若手交流のさらなる活性化・新規入会会員の獲得に努めていきます。

最後に今年実施を検討している今後の予定を記載いたします。今年3～4月に毎年恒例の先輩方を交えた花見会(心の若木会)を計画しております。さらに過去に実施して好評だった慶応との若手の交流会や、「朝まで若木会」の第二弾等を企画しようと考えております。



若木会部会長 中西元樹

早稲田スポーツ観戦部会

12月1日(日)大学ラグビー対抗戦国立最後の早明戦を20名の会員・家族で応援に行きました。

「国立を満員にしよう」と言うプロジェクトもあり47,000人の大観衆が観戦するなか、昨年のリベンジをかけた垣永主将率いる我が早稲田が、8年ぶりにノートライで抑え、15-3で勝利しました。

試合後には「さよなら国立セレモニー」が行なわれユージンが名曲「ノーサイド」を歌い、太陽が西に沈んでいく夕暮れのスタンドに残った私たちは戦い終えた両校選手とともに大変感動し、中には感激で涙を流している方も見受けられました。この時にこの場所に居られた喜びをあらためて感じる応援観戦会であったと思いました。



早稲田スポーツ観戦部会長 狩野俊夫

美術・歴史鑑賞部会

第44回の鑑賞会は、10月9日（水）東京藝術大学 大学美術館入口に10時30分に集合。白鳳の貴公子と称される国宝・興福寺の仏頭（薬師如来像）を含めた国宝25点、国指定の重要文化財31点を鑑賞しました。

“白鳳の微笑に会いに”のキャッチフレーズに誘われての特別展鑑賞。室町時代の火災で胴体と手足を失って仏頭に姿を変えても、見る人を魅了する興福寺の至宝。もともとは飛鳥の山田寺の本尊であり、数奇な運命をたどった仏像です。

厨子入り木造弥勒菩薩や国宝・板彫十二神将像、特別陳列の深大寺の釈迦如来像等の素晴らしさに触れる鑑賞会になりました。

参加者12名で美術館の中にある評判のレストランでランチ。芸術の秋を楽しみました。

次回の第45回は、少し暖かくなる3、4月から企画したいと思っています。今年は、世界各地の有名美術館の名作・名品の特別企画展が続きます。



美術・歴史鑑賞部会長 後藤克彦

俳句部会

第60回 萩句会報告

日時 2014年1月17日（金）14時～17時

（順不同）

川井素山	研ぎし刃の切れ味試す寒九かな
保井寶正	読初は一茶の秀句五百より
牧野里山	蠟梅の香り漂ふ路地の内
青木英林	寒の内掌に息かけてバスを待つ
後藤克彦	駅伝は命の襻負ひ走る
丸山酔宵子	細水が白樺並木を煌めかし
佐久間喬	福詣地図の先には酒処
永井正孝	冬木立オブジェと化してそそりたつ
吉田啓悟	歯磨きのすすぐ水しみ寒の入り
佐久間たか子	水仙の追ひ越してなほ香るかな

（参考）

佐藤喜仙 寒中や地図の旅にて日を送り
俳句部会長 佐藤喜孝

グルメ部会

12月14日（土）午後6時から、焼き鳥の老舗「京橋 伊勢廣」帝劇店で開催しました。ささみ、肝類、砂肝、葱巻、団子、皮身、もも肉の7種が程良い時間をおいて供され、さすがという味でした。

お酒は錫製の器で燗をしたものが大ぶりの湯飲みにそそがれ、おいしくて、お代わりが続出しました。

締めは珍しい鶏茶漬けです。出汁の茶漬けです。参加者は13名でした。



グルメ部会長 猪名川一雄

カラオケ部会

この冬は、常に北風に見舞われ、例年よりも寒いとの情報にあふれています。しかし、カラオケ部会は暖かく、活気に満ちています。

昨年12月13日（金）の例会は、忘年会として30分延長し、16時～19時30分で開きました。事前に4人のレギュラー会員から欠席通知があったにもかかわらず、出席者は11人、1人4曲ずつ歌い大盛況、皆さんも満足そうでした。

更に、今年1月の例会出席者は14人にも及び、活気満々の大会になりました。こうした状況がいつまでも続くことを祈願しています。

最近、会合の中に居て、ふと気づいたことがあります。以前（特に学芸大学店当時）は、会員の私語が多く、歌が聞き取りにくいことがよくありました。お互い注意し合うのですが、なかなか治まらず、時にはスナック・バーの様相を呈することもありました…。ところが1年半程前から様子が変わってきたのです。雑談は殆んど聞かれず、歌い手は一心に歌います。聞き手はじっと耳を傾けています。そして、歌い終わると万雷の拍手——。会は進み…皆、充実した気分のうちに、校歌を合唱して閉会となります。嬉しいことです。

何故こうした変化が起きたのか…。それは、会員の皆さん1人ひとりをご存知のはずです。

入会するなら今でしょう！

カラオケ部会長 田畑 繁

会員の広場

山本五十六の手紙



高野 孝（昭和39年 理工）

下の手紙は聯合艦隊司令長官山本五十六が昭和15年3月25日に旗艦「長門」から私の父高野務と母栄子に送ったものです。宛先が東京市芝区高輪南町の関弘（母の弟）方となっているのは、父が新潟県庁から内務省の技官に転勤した直後でひとまず高輪の母の実家に同居したためです。この前年の昭和14年は色々あった年で8月16日に私が生まれ、8月30日に山本五十六が海軍次官から聯合艦隊司令長官になり、11月3日に母の父関毅が亡くなっている。五十六は昭和15年11月15日に大将に昇進、昭和16年12月8日太平洋戦争勃発、昭和18年4月18日戦死、享年59才。

この手紙は、30年ほど前に母栄子が表具屋に出し額に入れてもらったもので文中に“孝君元気に”とあるので私が貰い受けた。

長女林を幼少の頃に亡くした高野の家は、長谷川家より曾祖父の貞吉が婿入りして次女美保と結婚。だがすぐに病死。次に三女美佐と結婚、讓・登・才三・惣吉と4人を生んでまた病死。ここで四女峯と結婚、長女は早世するが次女加嘉（慶応2年・1866年生）、五男 季八（明治12年・1879年生）（私の祖父）、六男五十六（明治17年・1884年生）が生まれる。江戸から明治では、武家では婿に入った男にとってこの様な結婚は当然の事だったのであった。

跡継ぎが絶えていた。そこで高野の家は子沢山で末子の五十六は優秀だから山本家を継ぐのはこの男しかいない、と云うことになり以降山本五十六となった。

五十六が筆達者できれいな字を書くのは貞吉の影響が大きいが本人の努力、修練も相当なものだったと思われる。

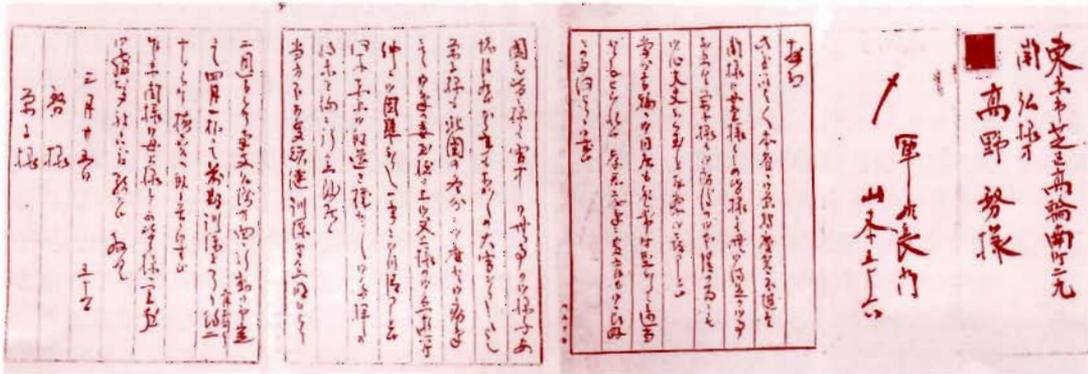
海軍兵学校の時の季八宛ての手紙を見ても大変きれいな字を毛筆で巻紙に書いている。手紙の内容は、すべて官給の兵学校と異なり士官になると全て自分持ちとなり大礼服以下全部で百数十円必要となるので用立てて欲しいと云ってきている。季八は応諾しているが五十六の頼みには全て答えてやるんだと思っていた様だ。

手紙を書く事も大好きで方々へ書いていた。一番有名なのが昭和29年4月18日の“週刊朝日”に載った“梅龍”こと河合千代子さんとの話。海軍次官になる少し前から聯合艦隊司令長官時代を通じて色々お世話下さった人で五十六の手紙を沢山持っていた。戦後10年経ってその事を新聞記者に話をした事から記事になってしまい有名になってしまった。

また“小太郎”こと鶴島正子さんは、“五十六の初恋の人”と云われた人で、やはりスーツケース一杯の手紙を持っていたが佐世保の空襲で全て焼けてしまった。

この他にも何人かは良い人はいたかも知れないがいずれも得意の筆でファンにしたものと思われる。

我が家に来た山本五十六の手紙は母栄子が全て長岡の山本五十六記念館に寄贈したものでこの一通だけが私の手元に残っている。



（山本五十六から高野務に宛てた手紙）

祖父は季八が生まれた時これ以上子供は出来ないと思いうお仕舞という意味で“スエツパチ”と名付けたのに5年後また男の子が生まれたので自分の年の56才から五十六と名付けた。

その後、五十六が大尉の時、旧長岡藩主の牧野の殿様に云われて筆頭家老の山本家を継ぐ事になる。

山本帯刀が戊辰戦争で首を斬られ御家断絶になったが明治政府が家名再興を許すと云って来た時には

此の書は、山本五十六の遺書である。山本五十六は、海軍兵学校卒業後、海軍少佐として、海軍省に勤務した。昭和15年、聯合艦隊司令長官に任ぜられた。昭和18年4月18日、太平洋戦争中、戦死した。この手紙は、昭和14年8月30日に、東京市芝区高輪南町に住んでいた高野孝に宛てたものである。手紙の内容は、海軍兵学校での生活について、士官になると必要な費用について、そして孝君の元気について話している。手紙の字は、非常にきれいな毛筆で書かれている。山本五十六は、海軍兵学校時代に、書道に興味を持ち、練習を重ねたことが、この手紙に反映されている。この手紙は、山本五十六の書道技術の高さを示している。また、孝君の元気について話している点も、山本五十六が家族を大切に思っていたことを示している。この手紙は、山本五十六の貴重な遺物である。山本五十六記念館に寄贈されたもので、現在は展示されている。この手紙は、山本五十六の人生の一部を伝える貴重な資料である。山本五十六は、海軍の発展に尽力した人物である。この手紙を通じて、山本五十六の人物像を知ることができる。山本五十六の手紙は、多くの人々に愛読されている。その理由は、きれいな字と、誠実な内容にある。山本五十六の手紙は、日本の書道文化の宝である。山本五十六の手紙は、多くの人々に愛読されている。その理由は、きれいな字と、誠実な内容にある。山本五十六の手紙は、日本の書道文化の宝である。

天気予報で売れ筋が分かる



岩田 修 (昭和59年 理工)

季節はまさに冬です。皆様、風邪などひかれていませんか？寒い時期の東京の天気はほとんどが晴れて乾燥して肌がガサガサになってしまうのが気になりますが、この天気、さまざまなものの売れ行きに大きく影響しているのをご存知でしょうか？「天気予報」を今日傘が必要かどうか、コートや1枚羽織るかどうかに利用されている方は多いのですが、もっともっと商売で使える事例をご紹介します。

専門的にはウェザーマーチャンダイジング(WMD)というのですが、難しい事を考えなくても、日々の生活の中で天気に影響されてついつい買い物の仕方が変わっている事があると思います。

例えば、気温の変化について「昇温商品」と「降温商品」で分類する考え方があります。「昇温商品」とは気温が高くなるほど買いたくなる(良く売れる)商品のことで、「降温商品」はその逆です。

具体的にみると、アイスクリームは「昇温商品」、おでんや鍋料理は「降温商品」です。この例は分かりやすいですが、意外なのがコンビニなどで売っているお弁当。一見気温の変化など売れ行きには関係なさそうですが、ある調査によれば、幕の内弁当は気温が上がるとよく売れます。つまり「昇温商品」ですが、海苔弁当は「降温商品」と逆に気温が下がると売れ行きが伸びます。私たちは気温の変化に応じて無意識に反応している様です。

先ほどの調査には他にも、牛丼・カレーライス・漬物は「昇温商品」、天井・カレーパンは「降温商品」になっていて、商売をする上で参考になりそうです。

また私たちの業界では、「お盆を過ぎたら“おでん”を売れ」との言葉があります。おでんは「降温商品」ですので一般に秋から冬によく売れる商品ですが、夏場でも気温が急激に変化した時に急におでんが売れ出すタイミングがあるからです。

例をあげると、“最高気温が前日より5℃以上低くなる”、“最低気温が前日より3℃以上低くなる”、“気温の日較差(朝晩の気温差)が8℃以上になる”等々です。「天気予報」でこれらの気温変化を事前に知っておけば、おでんで大儲けできるかも知れません。

このことから一部の商店やコンビニなどでは、気温の変化に応じて商品の陳列を変える方策を行っています。「天気予報」が役立っているようです。

温度以外にも天気が晴れか雨かで売れ行きが変わる商品があります。「天気感应型商品(晴天型商品・雨天型商品)」と言います。

「晴天型商品」には殺虫剤、ガーデニング用品、洗車用品などがあり、窓を開けての消毒や、自宅でも屋外での作業に晴天が向いている事が良く分かります。意外なところでは宝くじも晴れの日に売り上げが伸びます。長時間並んで買うのが苦にならないからかも知れません。

一方の「雨天型商品」の代表は傘です。これは分かりやすいですが、他にも洗剤などの台所用品、映画館、レンタルビデオ、宅配ピザなどがあります。

雨の日は外出しづらくなるので、自宅を掃除したくなって洗剤の需要が伸びそうですし、家にいるため宅配ピザやレンタルビデオの利用者も増えるでしょう。映画館は濡れずに長時間楽しめる施設だからと考えられています。

また雨が降ったり止んだりする時間帯によっても影響がある事が分かっています。日中が雨でも午後3時頃に雨があがると、自宅のそばのお店の客数が増えます。夕方近くなので遠出はせず近場で買い物をしたくなるのでしょう。また夕方に急な驟雨があると、刺身や天麩羅、弁当などの惣菜が良く売れます。あまり調理する必要のない食材のためと思われれます。人間のとる行動は面白いですね。

ちょっと変わったところでは異常気象の時で、台風などが接近して通過する前後でよく売れる商品が変わります。台風接近前には「雨天型商品」の他にも、乾電池や軍手などの防災用品、そして飲料水、インスタントラーメンなどの保存食が良く売れます。

一方で台風通過後は、台風一過で急に天気が良くなり気温も上がるため、お客さんが一気に増えて、アイスクリームなどの「昇温商品」が売れ出します。台風は接近・通過が数時間から1日程度と短いためその間にこれらの売れ行き商品が変わるため、「天気予報」は大いに役立ちます。

それから天気や気温の変化は、私たちの身体そのものにも影響がある事が分かっています。生気象学と呼ばれている分野です。例えば秋から冬にかけての寒くなりつつある時期に、前日に比べて急に最高気温が5℃以上低下する日には、心疾患・脳血管疾患・肺炎などの症状が多発するそうです。また前線が通過する時に、頭痛がしたりするのも気圧の急な変化による影響が大きいとの報告があります。一部の病院などではこれらを事前に把握するために「天気予報」を活用しているそうです。

天気予報というと一般的には、今日が雨になるかとか、週末に遊びに行く時の天気ぐらいしか活用されていませんが、ご紹介した商店での売れ筋変化の他、様々なビジネスで活用され始めています。もっとも「天気予報」をご活用いただければ幸いです。(日本気象予報士会専務理事・参考文献WMD)

ようこそ！部会活動へ

美術・歴史鑑賞部会へのお誘い

美術・歴史鑑賞部会長 後藤克彦

日本国内にも世界の人気が高い画家の名作を所蔵している美術館が数多くあります。“日本にあることが奇跡”と言われるエル・グレコの名作「受胎告知」のある大原美術館、ブリヂストン美術館のポール・セザンヌ「サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール」、出光美術館のジョルジュ・ルオー「受難」をはじめとして、国内の美術館の常設作品だけでも鑑賞して回るだけでも楽しいものです。

特に、都内周辺には東京国立博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、東京藝術大学大学美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館、三菱一号館美術館、山種美術館、ブリヂストン美術館、サントリー美術館等、数多くの美術館が世界的名画や名品を中心にした特別企画展を開催しています。

私たちは世界の名画や名品に囲まれていると言っても過言ではありません。しかし、何時でも見られるからと思っている間に展覧会は終わっていることがありませんか？企画展には期限があります。

多くの企画展は世界各地の有名美術館が所蔵している作品をメインにしたものが多く、現地の美術館へ行かなくては一生見られないものもあります。

今年開催される大きな特別企画の美術館展は ①テート美術館 ②ミラノボルティ・ベッツォーリ美術館 ③台北 国立故宮博物院 ④ボストン美術館 ⑤オルセー美術館 ⑥メトロポリタン美術館 ⑦チューリッヒ美術館と続きます。

日本にいながら世界の美術館が楽しめます！！

美歴の鑑賞会は、年4～5回予定しています。時には、地方の美術館（過去には歴史探訪会や富士山麓にあるビュフェ美術館、真鶴の中川一政美術館や笠間の日動美術館）にも足を延ばすこともあります。鑑賞後には皆でランチをたべながらの懇親会。

是非この機会と一緒に鑑賞いたしませんか。皆様の参加お待ちしております。



新入会員



澁谷 美香（平成22年 二文）
（品川区上大崎在住）

趣味：油絵 彫金 きもの テニス

以前から稲門会に興味があり、このたび入会させていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。



青木 英男（昭和40年 政経）
（文京区目白台在住）

趣味：旅行 畑仕事 ゴルフ 俳句

文京区在住ですが、平成21年より俳句部会に参加させていただいており、このたび目黒稲門会にも入会させていただくこととなりました。よろしくお願い申し上げます。



山口 優幸（先進理工学部在学中）
（三鷹市上連雀在住）

学生として過去2回目黒稲門会に参加させていただき、ただただ楽しかったので入会を決意しました。よろしくお願いいたします。

事務局便り

会員各位

計 報

樋口 定廣 本会元相談役は1月17日 午前9時30分逝去されました（享年91歳）。ここに慎んでご報告申し上げます。

故人には目黒稲門会の創立に多大な御尽力を賜り、初代事務局長として本会の礎を築いていただきました。その後も相談役として本会の発展に寄与され、まだまだ本会の行く末を見守って頂きたいと願っていたところです。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

目黒稲門会幹事長 吉田博行

編集後記

早稲田大学卒・割烹着美女の快挙。平成18年理工学部卒の“リケジョ”小保方嬢が、いろいろな臓器に変化する万能細胞の新しい作製方法を発見。山中伸弥京都大教授のips細胞より簡単に、しかも2日位で出来るらしい。がん化のリスクも少なく、医学の将来を変えうる驚きの発見という。

母校に一刻も早く医学部がほしい。小保方さん、山中教授を招いて、東大・慶応と肩を並べる医学部になってもらいたい。OBの夢である。（地田 記）